

知的障がい部門

(第18号)

研究の概要

1 研究に当たって

(1) 研究に至る経緯

本校では、これまでキャリア教育の充実を目指し、児童生徒の将来を見据えた教育の実践をテーマに授業改善に取り組んできた。開始から3年目を迎える「愛顔（えがお）のえひめ特別支援学校技能検定」（以下技能検定）の受検に向けた高等部産業科の取組を始め、高等部普通科、小・中学部、訪問教育でそれぞれの発達段階に応じたキャリア教育の在り方を探り、基本行動の定着や主体性の育成へつながる授業実践に取り組んだ。

また、一方で、平成27年度まで行われていた県のインクルーシブ教育システム構築事業（特別支援学校のセンター的機能充実事業）に基づく外部専門家活用、ICT機器の活用について、引き続き小・中学部・高等部の縦割りグループによる研究体制を改めて編成し、事例の課題研究に取り組んだ。外部専門家からの、より専門性の高い視点からの助言を基に、個々の課題に応じた指導・支援の在り方について見直し、今後の実践につなげていけるよう取り組んだ。

(2) テーマ

○別研究テーマ

「児童生徒の将来を見据えたキャリア教育の実践」

○ループ別研究テーマ

「外部専門家活用による授業改善を目指した事例研究及び授業実践」

(3) 設定の理由

<部別研究>

本校では、継続してキャリア教育を推進し実践してきたが、平成26年度から始まった技能検定への取組は実績とともに、徐々に充実したものとなっている。高等部産業科では、技能検定へ向けて一部の作業学習の時間をキャリアトレーニングの時間とし、取り組んでいる。高等部普通科や小・中学部、訪問教育部でも、それぞれの実情に合わせ、発達段階を踏まえたキャリア教育が進められ、とりわけ清潔、挨拶、身だしなみ、清掃といった具体的な実践に結び付いてきた。将来的には一人一人の児童生徒の自立と社会参加という大きな目標を掲げる中で、技能検定の具体的な内容と必要とされる力は、主体的に自分の役割を果たすことができる力へとつながり、地域社会や家庭、職場といったいろいろな社会の中で、一人の社会人として貢献できる力へとつながっていくものと考え。日々の授業を積み重ねていく中で、授業改善に努め、そのような力の育成を図りたいと考え、本テーマを設定した。

<グループ別研究>

私たちは授業を通して子供たちと関わり、子供たちのより良い成長、発達を願い、悩みを持ちながら日々授業を行っている。児童生徒の抱える様々な課題を捉え、適確な指導・支援が行えるよう、外部専門家を活用し、各職種の専門性に基づくアドバイスを受けることで課題を解決し、授業改善を進められると考え、本テーマを設定した。

(4) 研究の目的

部別研究では、小学部・中学部・高等部・訪問教育ごとに、各部の実情に合わせて系統性のあるキャリア教育の実践を通して授業改善を行う。

グループ別研究では、外部専門家を活用し、アドバイスを基に個別の課題解決に向けた指導・支援の工夫を行い、事例の検討を通して授業改善を行う。

(5) 研究の方法

キャリア教育と外部専門家活用による事例研究の二つの研究内容となったため、各
部別の研究と小学部・中学部・高等部縦割りのグループ別研究の二本立てで取り組ん
だ。

<部別研究>

月	日	曜	内 容
4	28	木	本年度の計画を立案する。 ・高等部産業科：技能検定に向けた取組について ・小・中学部、高等部普通科：技能検定の内容を踏まえ、児童生徒の 発達段階や実態に合った取組について ・訪問教育：キャリア教育の視点で今年度改善を図りたい題材及び研 究の方法について
5	31	火	各部で取組内容の検討
6	28	火	各部で授業実践の報告
8	25	木	各部で授業実践の報告
9	27	火	各部で授業実践の報告
10	24	月	各部で授業実践の報告
11	29	火	各部で授業実践のまとめ
1	24	火	研究紀要の原稿校正
2	22	水	校内研究発表

<グループ別研究>

外部専門家の講師が講演し、課題別のグループによる研修会を行った。

グループ名	グループ構成職員数(名)		
	高等部	中学部	小学部
①身体のバランス、姿勢や運動面に対する支援	4	3	4
②ソーシャルスキルトレーニング	14	7	3
③言語・コミュニケーション	6	5	8
④ICT・AT活用	8	5	4

月	日	曜	内 容
7	26	火	第1回グループ別研修（夏季研修会講演） 「対人関係や行動面への指導・支援について」
8	22	月	第2回グループ別研修（夏季研修会講演） 「タブレット端末の活用を中心としたICT・AT活用」
11	22	火	第3回グループ別研修会（特別支援教育研修会講演） 言語指導に関する療育場面の参観 「言語・コミュニケーション面への指導・支援について」
11	28	月	第4回グループ別研修（特別支援教育研修会講演） 「手指の使い方（食事指導場面を通して）への指導・支援について」